



Press Information

2014 年 12 月 22 日

各位

NPO 法人 映像産業振興機構

「平成 26 年度 京都映画企画市 -Kyoto Film Pitching-」優秀賞作品企画が決定！

NPO 法人映像産業振興機構（略称：VIPO、理事長：松谷孝征、東京都中央区）が、京都府と共同で開催している時代劇映画の企画コンテスト「京都映画企画市 -Kyoto Film Pitching-」につきまして、去る 12 月 12 日（金）に京都文化博物館別館ホールで行われた公開プレゼンテーション審査を経て、優秀賞作品企画が決定いたしました。

厳正公平なる審査の結果、今年度の優秀賞作品企画には、東映株式会社京都撮影所の映画・ドラマ助監督である小川岳志（おがわたけし）さんによる、「ゆるキャラ」の愛らしさを時代劇に取り入れた意欲的な企画『ゆるキャラ親分♡』が選出されました。

開催 6 回目となる本年度は、継続して企画市に応募頂いた方に加えて、京都以外（主に首都圏）の映像制作会社所属の方からの応募が増え、応募数は昨年度の 1.6 倍に増加。書類審査で厳選された 6 作品企画のプレゼンテーションでは、イメージ映像の上映や自身の過去実績作品のプレビューを盛り込むなど工夫が凝らされ、緊張感と見ごたえのある審査会になりました。また、昨年度に引き続き“オブザーバー”として、実際に映画企画を執り行う一線の映画プロデューサー、企画部担当者を多数お招きし、ビジネス視点も踏まえた意見交換が参加者と活発に行われました。

今回発表された全 6 企画の中でも、小川さんの『ゆるキャラ親分♡』は、時代劇が得意とする勧善懲悪のドラマを描きながらも、大胆に「ゆるキャラ」の要素を取り入れたことで、愛らしい主人公の人物像が生まれ、映像化への関心を大きく集めました。パイロット版映像からの本編製作の実現や、キャラクターライセンスでの 2 次展開の発展も期待され、このたび見事優秀賞が与えられました。

本作品企画には、350 万円相当のパイロット版映像制作の権利が付与され、東映株式会社京都撮影所の協力のもと撮影が行われます。完成したパイロット版映像は、来年 2015 年に開催される完成報告会にて披露される予定です。

今後とも当事業の実施にあたり、多くの皆様のご理解とご協力を賜りますよう、何卒よろしくご願ひ申し上げます。

【開催概要】

- 主 催： 京都府、特定非営利活動法人映像産業振興機構(VIPO)京都事務所
共 催： KYOTO Cross Media Experience 実行委員会
後 援： 経済産業省近畿経済産業局
協 力： 東映(株)京都撮影所、(株)松竹撮影所、(株)東映京都スタジオ、京都文化博物館
U R L： <http://www.kyotofilmpitching.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ:

NPO 法人 映像産業振興機構 京都事務所
担当: 高田

TEL: 075-746-6216 FAX : 075-746-6217 e-mail: kyoto@vipo.or.jp